

2013 年度  
スミセイ コミュニティスポーツ推進助成プログラム

## 応募要項

(テーマ)

**コミュニティスポーツによる  
健やかなひと・社会づくりに向けた  
調査・研究助成および実践助成**

(応募期間)

**2013年5月1日(水)～5月15日(水)[当日必着]**

公益財団法人住友生命健康財団

## (趣 旨)

住友生命健康財団では、2010年に財団設立25周年を記念し、新しい助成プログラムとして「コミュニティスポーツによる健やかなひと・社会づくりに向けた調査・研究助成」を開始し、2011年からは「実践助成」も併せて公募することになりました。

このプログラムは、人間の健康とコミュニティスポーツに関する課題解決型の〔調査・研究プロジェクト〕および〔実践プロジェクト〕を支援するものです。これにより、多様性のある健やかな社会の実現をめざし、コミュニティスポーツが日本社会に適した形で発展、定着することを願っています。

本プログラムでは、「地域に根ざした市民・NPO・専門家が協力し、スポーツを通じて、一人ひとりの心身の健康にかかわる問題や課題を発見・共有・解決していく取り組み」をコミュニティスポーツにとらえ、さまざまな年齢や立場の異なる多くの人たちが一緒になって、みんなで楽しく作り上げていくプロセスを重視し、身体的・精神的・文化的・社会的に人間がよりよく生きることを尊重した、創造的・実践的なコミュニティスポーツが生み出されることを期待しています。

また、2013年度も、コミュニティスポーツに関する調査・研究または実践を通じて、東日本大震災被災地の復旧・復興を支援するものに対しては、特別助成を実施いたします。

健康・スポーツに関わる市民・NPO・専門家が共に取り組む意欲的な応募が日本各地から寄せられることをお待ちしております。

なお、このプログラムは、特定非営利活動法人市民社会創造ファンドの企画・運営協力のもとに実施しています。

2013年4月

公益財団法人住友生命健康財団 理事長 門田 廣

## 1. 助成対象プロジェクト

応募要項の趣旨にもとづき、「一人ひとりが健康で多様性のある健やかな社会の実現をめざしたコミュニティスポーツの発展・定着」を願い、下記の（A）調査・研究助成または（B）実践助成に関する課題解決型プロジェクトを対象とします。

### （A）調査・研究助成

- ① 多様な健康ニーズをもつ市民と専門家が協力し、さまざまな年齢や立場を超えて、みんなが楽しみながら作り上げるプロセスを重視した、コミュニティスポーツの開発と実践手法に関する調査・研究
- ② 疾病や障がいのあるひと、社会参加をめざす若者、子育て世代、高齢者、在住外国人など、健康にかかわる社会的な支援が十分でない人たちを対象にした、コミュニティスポーツへの参加促進と支援方策に関する調査・研究
- ③ 健康に課題をもつ市民のコミュニティスポーツの実践とその健康への影響評価に関する調査・研究
- ④ 人間の健康とコミュニティスポーツに関わる人文・社会科学や自然科学等の研究成果を市民活動等の実践現場へフィードバックする手法に関する調査・研究
- ⑤ 日本社会に適したコミュニティスポーツの制度・社会基盤の構築に関する調査研究

\* 上記のテーマに該当しないものでも、趣旨に適った先駆的かつ社会的意義の大きい調査・研究で、選考委員会において高い評価が得られたものは助成の対象とします。

\* 応募資格は特に定めません。既存の組織によるもの他、個人あるいはグループでの応募も可能ですが、研究者と市民・NPOが共同して取り組むプロジェクトを期待しています。

### （B）実践助成

- ① 子ども世代・親世代・シニア世代の三世代が一緒になって、交流しながら楽しめるコミュニティスポーツをめざす取り組み
- ② 日常的に地域コミュニティやスポーツへの参加が困難な人たちと市民が共に支え合い、仲間をつくりながら楽しめるコミュニティスポーツをめざす取り組み
- ③ まちづくり・まちおこしなど、地域の活性化に向けたコミュニティスポーツをめざす取り組み
- ④ 新しいコミュニティスポーツの開発・普及をめざす取り組み
- ⑤ その他、趣旨に適った先駆的・独創的なコミュニティスポーツをめざす取り組み

\* 実践を伴う調査・研究は、（A）調査・研究助成として応募下さい。

\* 応募資格は、①民間の非営利組織であること（法人格の有無や種類は問わない）、②開かれた運営を行っていること、③日本国内に活動拠点があること、④原則として2年以上の団体運営および活動実績があること、⑤団体の目的や活動内容が政治・宗教に偏ってないこと、とします。

## 2. 重視するプロジェクト(選考基準)

### (A) 調査・研究助成

- ① 多様な市民の健康づくりに幅広く貢献する可能性のあるもの。
- ② 新しい社会的な動きをつくりだすような独創的な発想をもつもの。
- ③ 専門性に裏付けられた構想をもち、方法や内容がその構想に適合しているもの。
- ④ 成果を社会に還元する方法が明確で、市民活動等の実践者への波及効果が高く期待できるもの。
- ⑤ 公的な補助や企業からの支援が得られにくく、民間財団の助成に相応しいもの。

### (B) 実践助成

- ① 一人ひとりの個性を生かした独創的でユニークなもの。
- ② 年齢や立場の異なる人々が一緒に楽しく作り上げるプロセスを重視したもの。
- ③ 実施方法が十分検討されており、実施体制や実施予算の計画性が高いもの。
- ④ 実践を通じて健やかなひと・社会づくりへの貢献が高く期待できるもの。
- ⑤ 公的な補助や企業からの支援が得られにくく、民間財団の助成に相応しいもの。

## 3. 助成内容

(1)助成総額： (A) 調査・研究助成、(B) 実践助成を合わせ 2,200 万円とします。

### (2)助成金額・助成件数

(A) 調査・研究助成： 1 件あたり 50 万円以上 400 万円以下。助成件数は 7～10 件程度

(B) 実践助成： 1 件あたり 50 万円以下。助成件数は 19～24 件程度

\* (A)調査・研究助成で 2 年目に継続助成を行う場合の上限は 300 万円。

\* (B)実践助成で 2 年目・3 年目に継続助成を行う場合の上限は 50 万円。

### (3)助成金の使途 (A・B 共通)

例示すると下表の通りですが、必要なものはこれ以外も原則として認めることとします。

費目	内容
旅費交通費	交通費、宿泊費など
謝金	講演料、翻訳料、通訳料など
会議費	会場代、配布資料コピー代など
通信運搬費	送料、携帯電話代など
印刷費	デザイン・印刷・製本費、簡易印刷代など
資料費	図書、資料・文献購入費など
機材・備品費	情報機器購入費、ソフトウェア購入費など (原則、1 点 30 万円以内)
消耗品費	ファイル、封筒、紙など (原則、1 点 3 万円以内)
事務局人件費	プロジェクトに関わる事務局スタッフの人件費、アルバイト代など
事務局諸経費	プロジェクトに関わる事務所の光熱水費、家賃などの按分

(4)助成期間(A・B共通)： 2013 年 10 月 1 日～2014 年 9 月 30 日までの 1 年間とします。

\* 毎年度の選考を経て、調査・研究プロジェクトは最大 2 年まで、実践プロジェクトは最大 3 年まで、継続して助成を行う場合があります。

\* 中間報告書を 2014 年 4 月末日まで、完了報告書を 2014 年 10 月末日までに提出いただきます。

## 4. 選考過程（A・B共通）

### (1) 選考方法

提出された応募企画書にもとづき、財団が委嘱する下記の選考委員会において、「重視するプロジェクト」を選考基準として選考します。(A) 調査・研究助成では、選考の過程で住友生命健康財団と市民社会創造ファンドの担当者によるインタビューを実施します。

選考委員会：下記の選考委員で構成

稲山 貴代	首都大学東京 大学院 人間健康科学研究科 准教授
小野 喬	日本スポーツクラブ協会 相談役、住友生命健康財団 評議員
中村 好男	早稲田大学スポーツ科学学術院 教授
福岡 孝純	法政大学スポーツ健康学部 教授
水谷 綾	大阪ボランティア協会 事務局長
青山 成夫	住友生命健康財団 常務理事・事務局長

### (2) 選考結果の通知

2013年9月20日までに、応募者宛てに文書にて通知します。

### (3) 選考結果の公表

選考総評、助成対象プロジェクト一覧（応募プロジェクト名、応募代表者の氏名・所属、助成金額）、推薦理由などの選考結果は、住友生命健康財団のホームページ、新聞・雑誌等へのリリースにて公表します。

## 5. 応募方法（A・B共通）

(1) 応募期間： 2013年5月1日（水）～5月15日（水）[当日必着]

### (2) 応募手続き

(A) (B) それぞれの所定の応募用紙に必要事項を記入した「応募企画書」2部（原本1部と複写1部）を、5月15日（水）[当日必着]までに、公益財団法人住友生命健康財団「スミセイ コミュニティスポーツ推進助成プログラム」係宛てに、簡易書留または宅配便など配達記録の残る手段で送付ください。

- \* 応募企画書の持参、電子メール、メール便での応募は受け付けません。
- \* ご提出いただいた応募企画書は返却いたしませんので、必ずコピーをとっておいてください。
- \* 応募企画書にご記入いただいた個人情報は、「公益財団法人住友生命健康財団の個人情報保護に関する基本方針」を遵守し、適切に管理します。

### (3) 応募書類の送付先・応募に関するお問い合わせ先

〒540-0001  
大阪府中央区城見 1-4-70 住友生命 OBP プラザビル 10F  
公益財団法人住友生命健康財団  
「スミセイ コミュニティスポーツ推進助成プログラム」係  
担当：米原・杉本  
TEL：06-6947-3140 / FAX：06-6947-3142

#### (4) 応募用紙の入手方法

(A) (B) それぞれの応募用紙は、住友生命健康財団のホームページよりダウンロードしてご使用ください。郵送をご希望の場合は、①郵便番号、②住所、③所属機関または団体名、④氏名、⑤連絡先（電話番号）、⑥ (A) 調査・研究助成または (B) 実践助成の区別を明記し、⑦「スミセイ コミュニティスポーツ推進助成プログラム 応募用紙郵送希望」とお書き添えの上、財団事務局宛てに、FAX: 06-6947-3142 にて、ご連絡ください。

## 6. 2012 年度の助成対象

2012 年度の助成対象プロジェクトは別表の通りです。なお選考総評、推薦理由等は、住友生命健康財団のホームページに記載していますので、ご覧ください。

### ●住友生命健康財団のホームページ

<http://www.sumitomolife.co.jp/csr/kouken/kenkou/kenkou.html>

## 公益財団法人住友生命健康財団

〒540-0001

大阪府中央区城見 1-4-70 住友生命 OBP プラザビル 10F

TEL : 06-6947-3140 / FAX : 06-6947-3142

<http://www.sumitomolife.co.jp/csr/kouken/kenkou/kenkou.html>